

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	【児童発達支援】キッズアドベンチャーオアシス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動できるスペースが広い、利用児が伸び伸びと活動できている	出来るだけ広く使えるように活動内容によっては巧技台の置く場所など工夫している	
2	利用児が安心して楽しく通所出来ている	まずは利用されるお子さんとの関係性の構築を図ることを第一に考え、楽しく活動できるようスタッフ全員で共有している	利用児さんとのコミュニケーションを常に図り、今まで以上に季節のイベントを活動や制作など支援内容に取り入れ活動内容を充実させていく
3	児童発達支援計画が保護者のニーズも踏まえ立てられ、それに沿った支援がスタッフ全員で共有でき支援できている	毎月、ミーティングを職員間で行い、利用児個々の現状や今後の課題などを周知するようにしている	今後は更にモニタリングなどのタイミングでスタッフより意見を出してもらい、次の課題についてなど共有し支援につなげていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流がはかれない	事業所の立地が住宅ではなく、病院や大型スーパーなどが隣接し地域との交流が思うようにはかれない	地域の通り会には加入しているので参加型のイベントなどがあれば情報を受け取ることが出来るようにしていく
2	家族支援として家族が参加できる研修会などを開催できていない	保護者による送迎の利用者様へは、共有システム以外での支援状況や困りごとなどあれば随時お話を聞くようにし、情報提供の機会を作っているが事業所送迎の利用者さまへは共有システムでしか情報を提供できていない	保護者の方より希望があれば、今後研修会なども検討していきたい
3	保護者同士の交流の場やきょうだい同士の交流の機会が少ない	療育をきょうだいで利用され、同じ時間に支援する場合はきょうだい同士の交流目的に支援がなされる場合もあるが、療育を利用されていないきょうだいへの支援はされていない	夏祭りや季節の外イベント時など、保護者やきょうだい参加ができるような活動を今後は考えていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 【児童発達支援】キッズアドベンチャーオアシス

公表日 令和7年 2月 28日

利用児童数 22

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			1	・スペースを広く取り、整えられた環境 下で活動できている	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		1	・新しい先生の名前がわからないのでお 便りや新年度などには顔写真入りのお便 りがあれば親子共にわかりやすい	新年度や療育の新規利用時に職員紹介な どを踏まえたお便りの発行を検討する
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18			1	・視覚で情報が取り入れられるような配 慮があり安心して活動できる空間になっ ている	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	18			1	・特性に合わせて声掛けや関わるように 支援されているなど感じる	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	19					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				・計画書に沿って支援されていて少しず つ目標に近づく事ができていると思う	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	18			1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと 活動する機会がありますか。	11	1	2	5	・機会が確認できない ・わかりません。個別療育なので療育先では 他の子供との関りはしてないのかなと思いま す。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				・とても丁寧でした	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	8	3	2	6	・機会が確認できない ・わかりません	保護者同伴で療育のご利用の方には支援 者と別に専門職のスタッフが内容の説明 や情報提供を行っている
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	18		1		・質問や相談に対し、いつも真摯に説明 してもらい、大変ありがたい	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18		1		・メールや保護者づつで情報を聞いたり 共通理解はできていると思う	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	3	7	・機会が確認できない ・今後保護者会や勉強会があれば参加し たい	個別での家族支援・きょうだいをご利用 がある利用者さんへはきょうだい支援は している。イベントなどについては今後 検討したい	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			1	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18		1		・こまめに連絡をしたり、メールでの活動内容での共有などしっかりされていると思う。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3		5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	3	1	6	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	1	3	・事故・ケガ発生していない
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				・安心感をもって楽しみながら通うことができているありがたい
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19				・安心感をもって楽しみながら通うことができているありがたい
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				・大変満足している

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		【児童発達支援】キッズアドベンチャーオアシス					公表日	令和7年 2月 28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				活動の説明を行う際などにホワイトボードで視覚支援を行っている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				消毒・清掃を毎日実施			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○							
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			利用児の説明に応じてケース会議を行っている				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		ミーティングを月1回行い、その中で改善が必要な点をその都度あげて改善につなげている				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			外部研修などに参加する機会を増やしてほしい	・必要な研修に関しては費用負担も事業所で行って受講してもらっている ・毎年事業所毎に事例発表を行っている			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				統一したアセスメントシートを使用			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○							

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼時に送迎担当や支援担当など確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援後に伝達できない場合は連絡ノートを活用し、お休みの職員も含め共有できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		移行支援シートを作成後、保護者に確認を取ったうえで関係機関と情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童発達センター主催の研修には参加するようにしている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士の交流をする機会はないが兄弟同士での交流機会はある	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			Instagramを最低月2回は更新し情報発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			避難訓練以外にも職員の感染対策研修などを行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			BCPを避難訓練などを実施した後、職員でミーティングを行い、必要であれば改定している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			毎月、よく利用する公園など危険箇所がないかキレイに清掃されているかなどの確認を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			毎月の職員会議でヒヤリハット報告の機会を作って各事業所で報告を行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			毎年、虐待防止の研修を開催している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				